

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	古殿町総務課		代表者名	鈴木 一彦	
担当者部署	企画推進係		連絡先電話番号	0247-53-411	
担当者役職	主事	担当者氏名	根本 健太郎	連絡先E-mail	*****
住所	963-8304 福島県古殿町大字松川字新桑原31番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤井 靖史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	経験や知識が豊富であり、自治体側の視点に立ってアドバイスいただいた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年9月20日	支援・助言(オンライン)	有	令和5年9月4日	889
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月11日	講演（実地）	13時30分	15時45分	
				活動時間（分）	135
3-2. 派遣場所	会場名	古殿町役場 大会議室	最寄駅	磐城石川駅（水郡線）	
	所在地	福島県石川郡古殿町大字松川字新桑原31番地	最寄駅からの交通手段	バス、タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DX推進計画の策定に向けて、専門家からのアドバイスをいただく機会がないこと。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	令和5年度内に古殿町DX推進計画を策定する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	DX推進計画策定に向けての進め方を、他自治体の事例も踏まえ、適切にアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DX推進計画を策定していく上での方向性が明確となった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 自分たちが思っていたDXとは異なる視点でのお話だったため、大変参考になったとの声が多かった。また、他自治体の事例を踏まえてのお話だったため、身近に感じられた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	古殿町DX推進計画の策定。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

